

第14回 June 4 2017
全国水環境マップ実行委員会

第14回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日　2017年12月2日
編　集　全国水環境マップ実行委員会事務局
発　行　全国水環境マップ実行委員会
発行所　全国水環境マップ実行委員会事務局

問合せ先　全国水環境マップ実行委員会事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
みずとみどり研究会気付
TEL/FAX：042-327-3169
E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL：http://www.japan-mizumap.org

発行部数　6,000部

第14回 2017

本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

身近な水環境の全国一斉調査

笑顔でつなぐゆたかな水辺

第14回 調査結果概要 2017

目　次

Ⅰ　調査の背景　P.1
Ⅱ　調査の実施手法　P.2
Ⅲ　調査結果の概要　P.3
全国一斉調査諸データの推移　P.4
2017　全国水環境マップ　第14回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.5
2004　全国水環境マップ　第１回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.6
Ⅳ　各ブロックでの調査結果　P.7
北海道地方　P. 7　近畿地方　P.12
東北地方　P. 8　中国地方　P.13
北陸地方　P. 9　四国地方　P.14
関東地方　P.10　九州・沖縄地方　P.15
中部地方　P.11
Ⅴ　一斉調査結果の活用事例紹介　P.16
Ⅵ　継続調査参加団体　P.19
Ⅶ　全国水環境マップ実行委員会名簿　P.20
Ⅷ　身近な水環境を調べよう！第15回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い　P.21
第15回 身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙　P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年６月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は（株）共立理化学研究所から提供を受けています。

後援　国土交通省　環境省

印刷　エキノックス

全国水環境マップ実行委員会



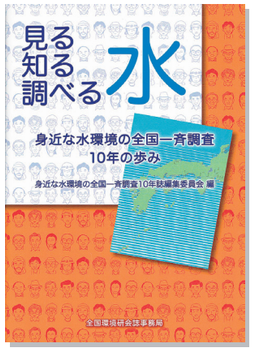
Ⅰ 調査の背景



近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は 1980 年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。

多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと 10 年間のまとめが一冊の本になりました。】



調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になりました。身近な水環境の全国一斉調査 10 年の歩みがわかる「見る　知る　調べる水」((有) 全国環境研究会誌事務局　発行：2015 年）は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価 1,500 円 (税込) 送料別で販売中です。

「身近な水環境の全国一斉調査」は 2004 年 6 月に開始され、14 年間で延べ 99,751 人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ 75,234 地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

目的と意義 ～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1．身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2．統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3．身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおよそ 1 年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4．河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5．同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6．身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7．水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8．汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9．調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10．子どもたちが調査に参加することにより、100 年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

Ⅱ 調査の実施手法

調査の概要

調　　査　　日：2017 年 6 月 4 日（日）を中心に実施
調　　査　　者：『全国水環境マップ実行委員会（委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授）』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストで COD を測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と 3 種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストで COD を測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●ＣＯＤ（化学的酸素要求量）

COD（Chemical Oxygen Demand の略称）は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的な COD の値は、きれいな水で 1 － 2mgO/L 程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号（製造番号）のパックテストを用いて、同一試料を 3 回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

●採水

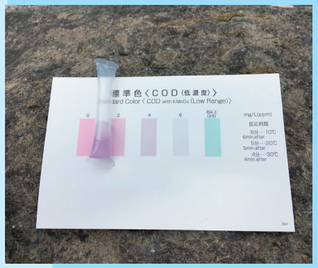
①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●ＣＯＤの測定

①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
②添付の操作手順書に従い測定します。
③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
④同じ試水で 3 回測定します。







Ⅲ 調査結果の概要

調べてわかる　身近な水辺

全国への広がりと継続の難しさ

毎年の参加団体数や調査地点数は第２回以降、数字の上では大きな変化はありませんが、新規に参加をしている市民団体や企業、大学などがあり、現在では延べ4,000団体以上が本調査へのエントリーをしています。本調査の広がりはさまざまな方のご協力もあり声掛けを行っていただきひろがりをみせていますが、特に市民活動をされている方の高齢化により調査を断念される、地点数を減らすといったコメントもいただいています。一方で今年は大学関係者で全国各地の調査地点の少ないところを約1,400地点実施していただきました。しかし、今後の継続については課題としています。

また、今年は調査中に怪我をされたとの連絡を２件いただきました。水辺での活動や自宅から現場に行くまでの行程につきまして、十分安全にご留意くださいますようお願いいたします。

全国統一日

調　査　日　2017年６月４日（日）
参加団体数　411団体（個人参加含む）
調査地点数　2,418地点

調査総数（全国）

期　　間　2017年５月12日～７月13日まで
参加団体数　758団体［参考：第１回　531団体、第２回　1,000団体、第３回　944団体、第４回　917団体、第５回　997団体、第６回　1,011団体、第７回　913団体、第８回　885団体、第９回　926団体、第10回　865団体、第11回　792団体、第12回　771団体、第13回　750団体］
地点総数　6,124地点［参考：第１回　2,545地点、第２回　5,018地点、第３回　4,923地点、第４回　5,473地点、第５回　6,241地点、第６回　5,683地点　第７回　5,909地点、第８回　5,653地点、第９回　5,581地点、第10回　5,421地点、第11回　5,544地点、第12回　5,842地点、第13回　5,270地点］
※８月に実施した調査結果を送っていただいた団体もありますが、これらは参考データとさせていただきます。

調査地点（海外）　インドネシア　２地点

調査のまとめ

14回の参加者延べ人数が99,751人となりました。来年には10万人に達することが期待され、本当に多くの皆さまに参加していただいたのだと感じています。

今年は758団体により6,124地点が調査されました。継続されている参加者の皆さまに加え、近年では全国各地にある企業関係者の参加や大学関係者によって本調査が活発に行われています。

水質調査の結果は、０～3mg/L未満の地点が31%、３～6mg/L未満の地点が38%、6mg/L以上の地点が31%という結果になりました。また、近年では「定点調査地点の水がない」と調査票への記述があり、今年も約60地点報告がありました。このような情報も河川水量の変化の記録として貴重なデータとなっています。





全国一斉調査諸データの推移

●年別　参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

都道府県名		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
		団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1	北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131	25	131	36	435
2	青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19	5	17	5	19
3	岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12	2	6	3	13
4	宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25	6	29	6	30
5	秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7	2	5	5	30
6	山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52	2	52	2	52
7	福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78	8	48	10	69
8	茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305	40	286	37	285
9	栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10	6	11	7	13
10	群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76	9	81	10	114
11	埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486	64	399	63	441
12	千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111	16	221	19	186
13	東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681	100	608	106	634
14	神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374	37	385	39	470
15	新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318	25	269	23	210
16	富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12	6	15	7	38
17	石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7	6	12	2	9
18	福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46	3	43	7	48
19	山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208	39	196	34	225
20	長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380	22	303	29	364
21	岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101	16	42	18	45
22	静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34	12	27	11	119
23	愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118	26	132	22	114
24	三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33	10	48	11	37
25	滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600	87	547	83	514
26	京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60	11	54	11	80
27	大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213	24	188	28	202
28	兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136	33	136	30	136
29	奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31	10	22	11	24
30	和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19	5	14	3	34
31	鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21	2	3	2	6
32	島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81	3	31	4	31
33	岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275	10	249	14	292
34	広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79	9	62	10	83
35	山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18	4	17	8	23
36	徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140	23	85	22	103
37	香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12	2	10	3	10
38	愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155	5	145	7	132
39	高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53	14	84	12	51
40	福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84	22	76	19	70
41	佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19	5	20	8	27
42	長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34	4	12	6	187
43	熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39	5	35	5	18
44	大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4	40	2	11	2	11
45	宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47	4	55	5	44	5	43
46	鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13	2	11	3	12	3	5
47	沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34	8	43	10	47	8	42
合計		547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	959	5,581	882	5,397	836	5,544	818	5,842	785	5,270	816	6,124
実団体数		531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		926		865		792		771		750		758	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。　実団体数の数値が真値。

●参加者記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,389	6,040	4,834	9,561	7,061	6,944
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,719	1,545	1,186	2,026	1,927	1,690
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	704	851	707	1,133	771	667
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,503	3,568	2,838	6,305	4,245	4,498

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているとおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

●一斉調査日実施状況

実　施　年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
団　体　数	360団体	600団体	587団体	547団体	508団体	569団体	510団体	499団体	518団体	468団体	334団体	428団体	345団体	411団体
地　点　数	1,875地点	3,288地点	3,044地点	3,158地点	3,483地点	3,072地点	2,755地点	2,755地点	2,598地点	2,648地点	1,664地点	2,749地点	1,951地点	2,418地点

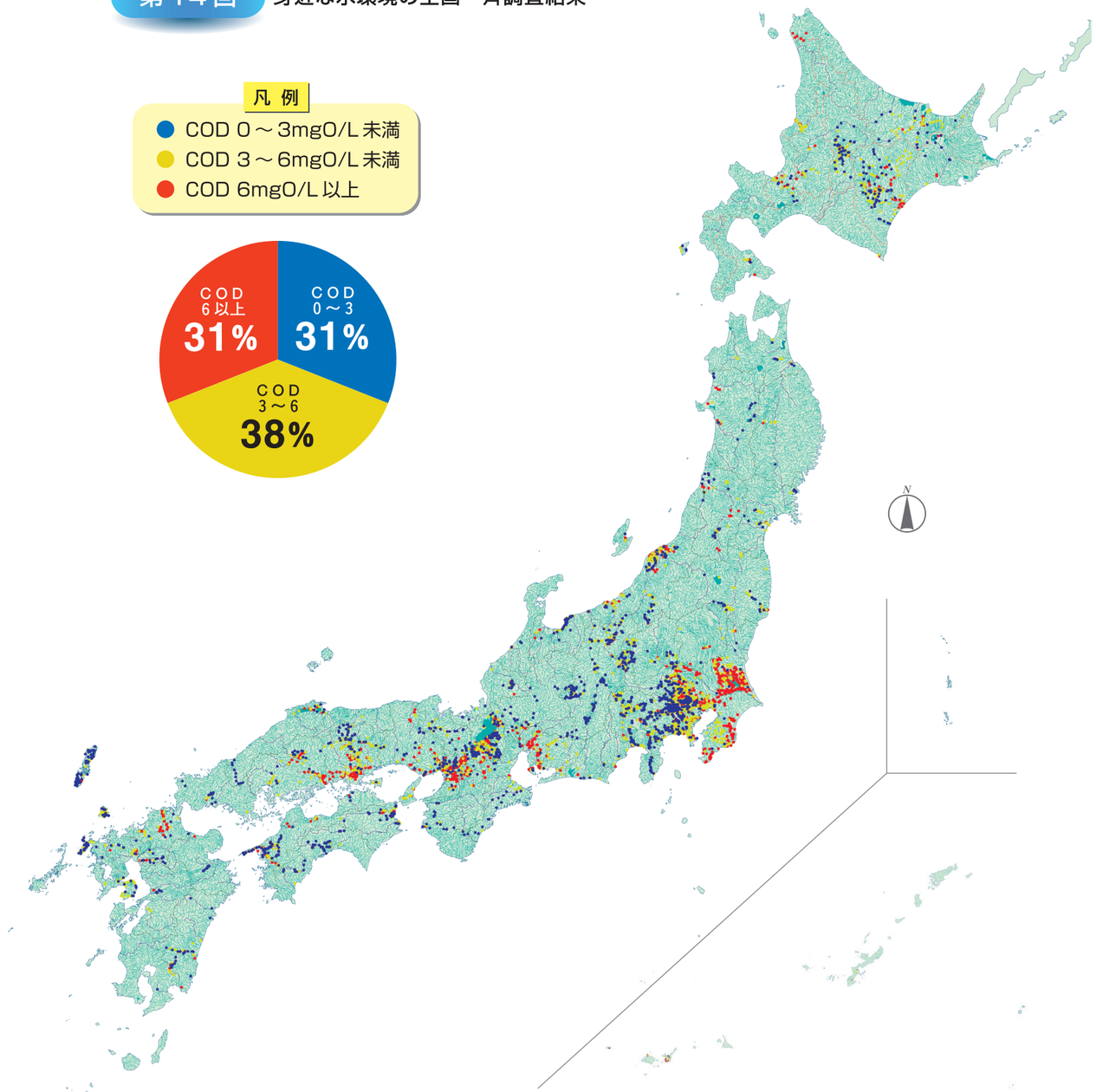
●海外データ

国　名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
中　国	8	5	63	ー	3	ー	2	1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
韓　国	4	1					3	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	6	ー	ー
チェコ共和国				1					ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
イギリス									ー	ー	ー	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー
インドネシア																		2

2017全国水環境マップ

第14回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上



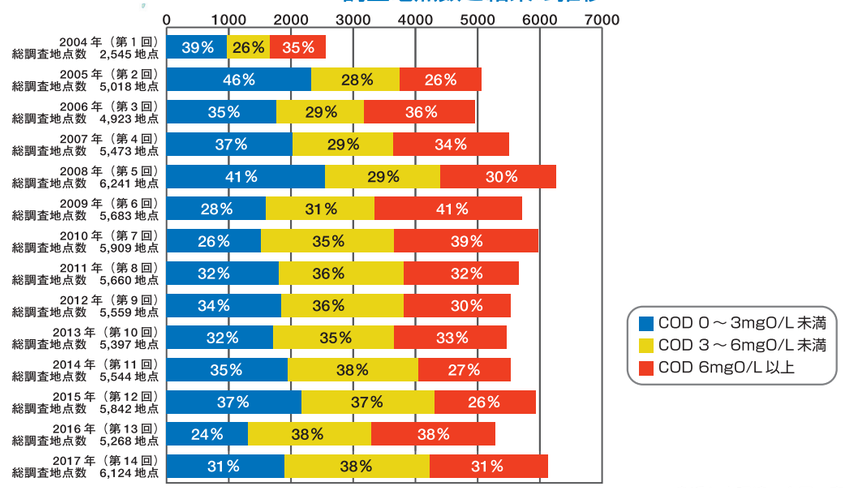
2004全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上

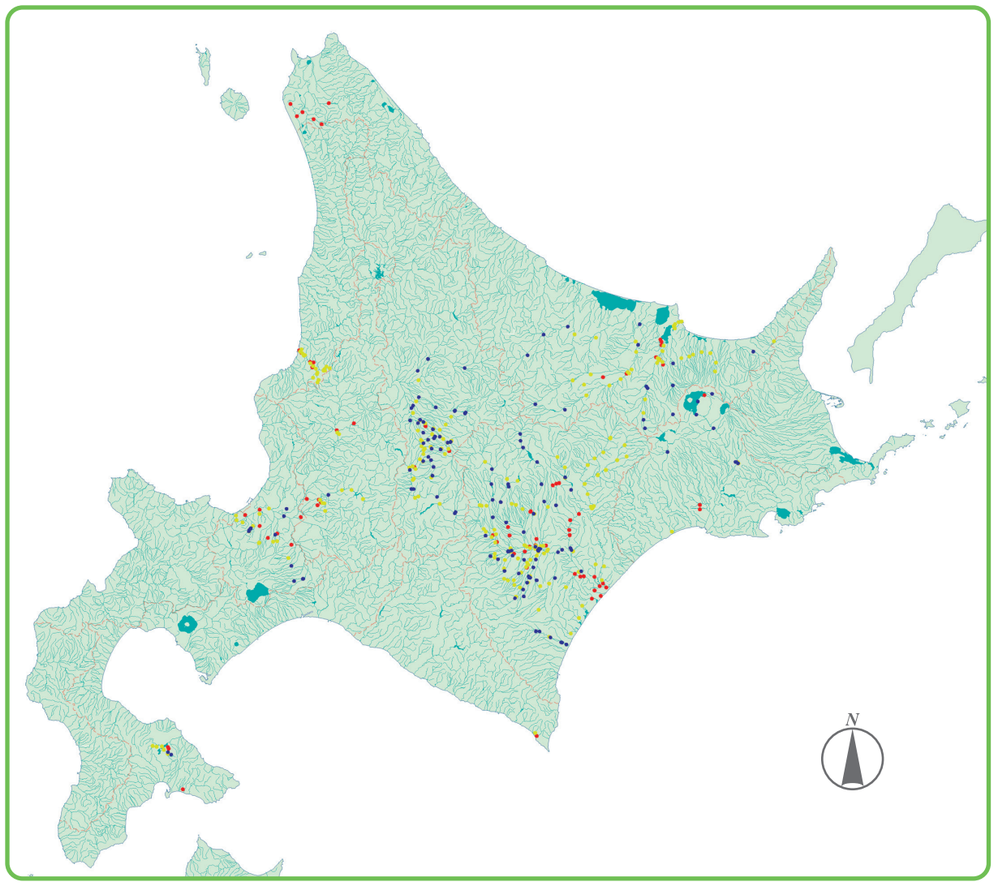


調査地点数と結果の推移



Ⅳ 各ブロックでの調査結果

北海道地方



参加者からのコメント

- 前日から小雨が降り続き少しの濁りと水量が多い。例年ごみ投棄が多い地点であるが、今年は無かった。
- 昨年の豪雨災害で河川改修工事が行われており、川の流れが単調となり浅くなった。水質への影響はないと思われる。
- H28.8の台風出水で左岸樹林が消失、右岸は疎らになった。水草も減少。
- バイカモが減少していた。昨年度の出水の影響かまたは農業用水くみ上げのため除去されたか？農業用水くみ上げ用に、横断方向帯状に伐採されていた。





東北地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

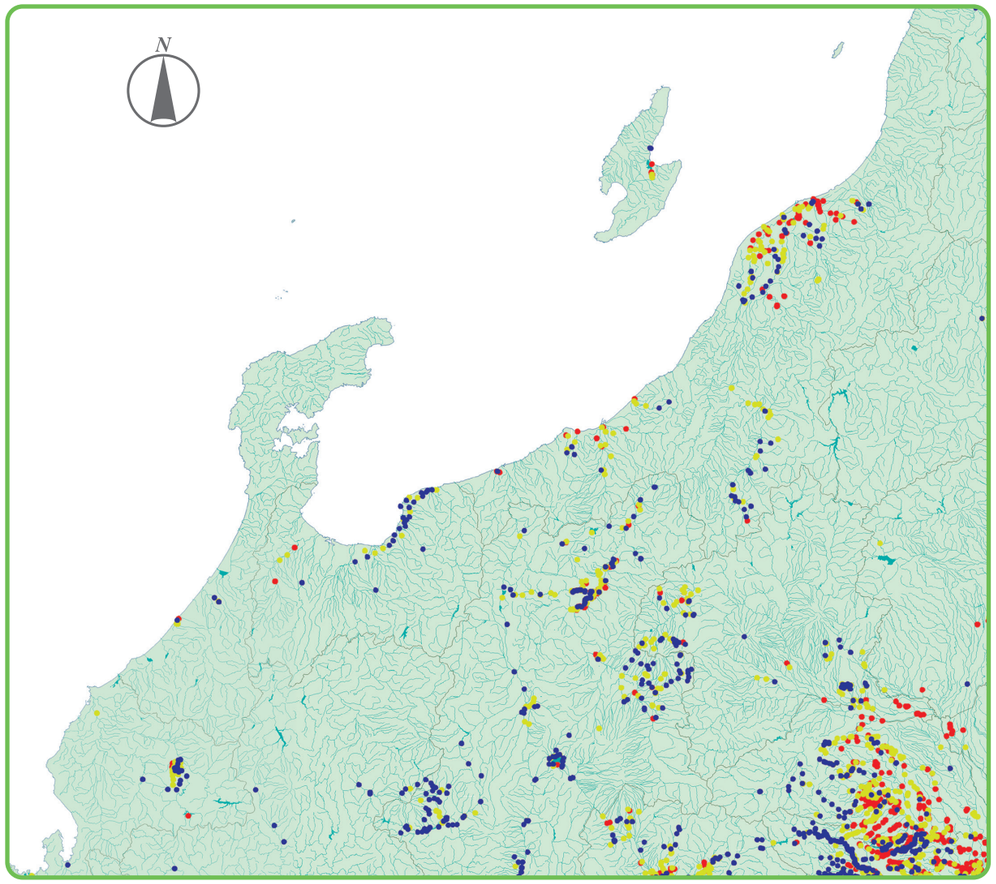
- 調査地点周辺はごみが多い。田植えのため川の水は少ない。
- 東日本大震災後、堤防工事が進行中。日和山周辺の養魚場も埋め立てられました。そのためアシ林がなくなりました。干潟ではカニが隠れているような穴が無数にありました。
- 広い氾濫原の中に、結構広範囲に階段が設置され、親水公園風のせせらぎ広場には市民も良く訪れ、ごみ拾いや稚魚放流の場所にもなっている。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

北陸地方



参加者からのコメント

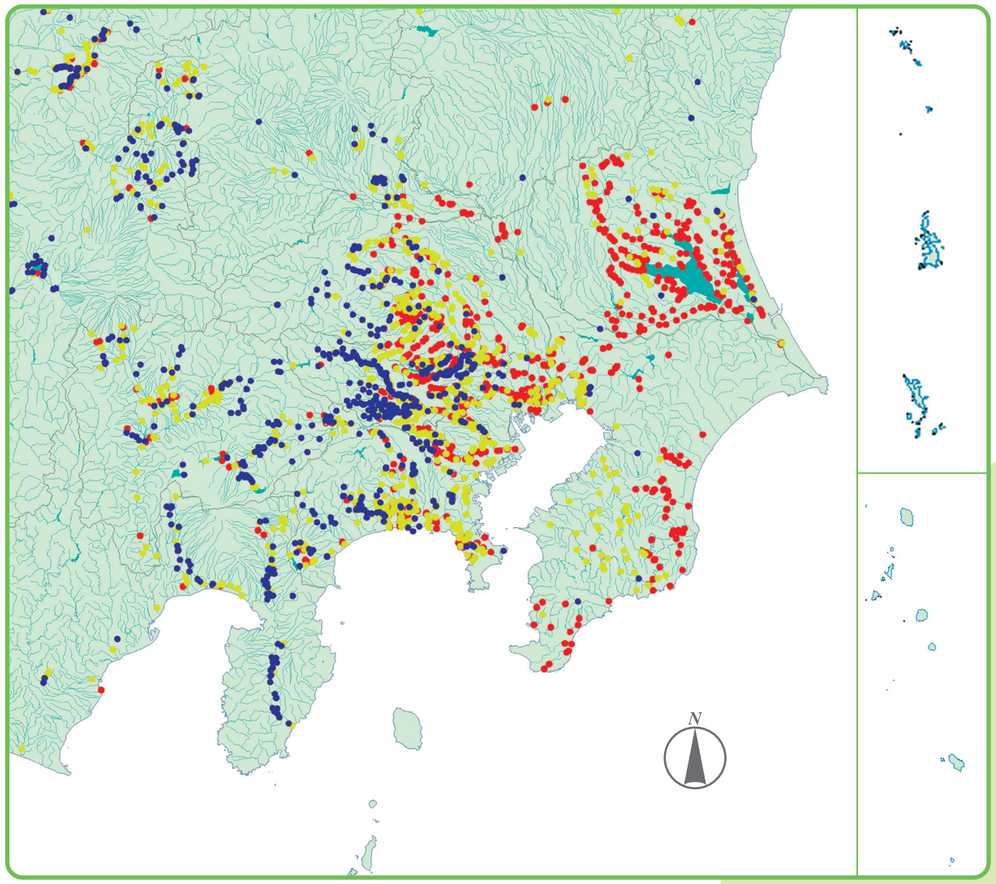
- 地元の中学生や新潟漁連の漁師が植樹、間伐を最近実施されていてよい傾向がみられると思います。
- 例年より山の積雪が多かったため雪解け水によって川の水量は多めである。水は澄んできれいである。
- ため池の入り口に多くのごみが散乱している。
- 橋げた等に流木が多くなり、流れに変化もあるように感じる。ウの数が増えた。川原の大木が枯渇。中州にも変化あり。





関東地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

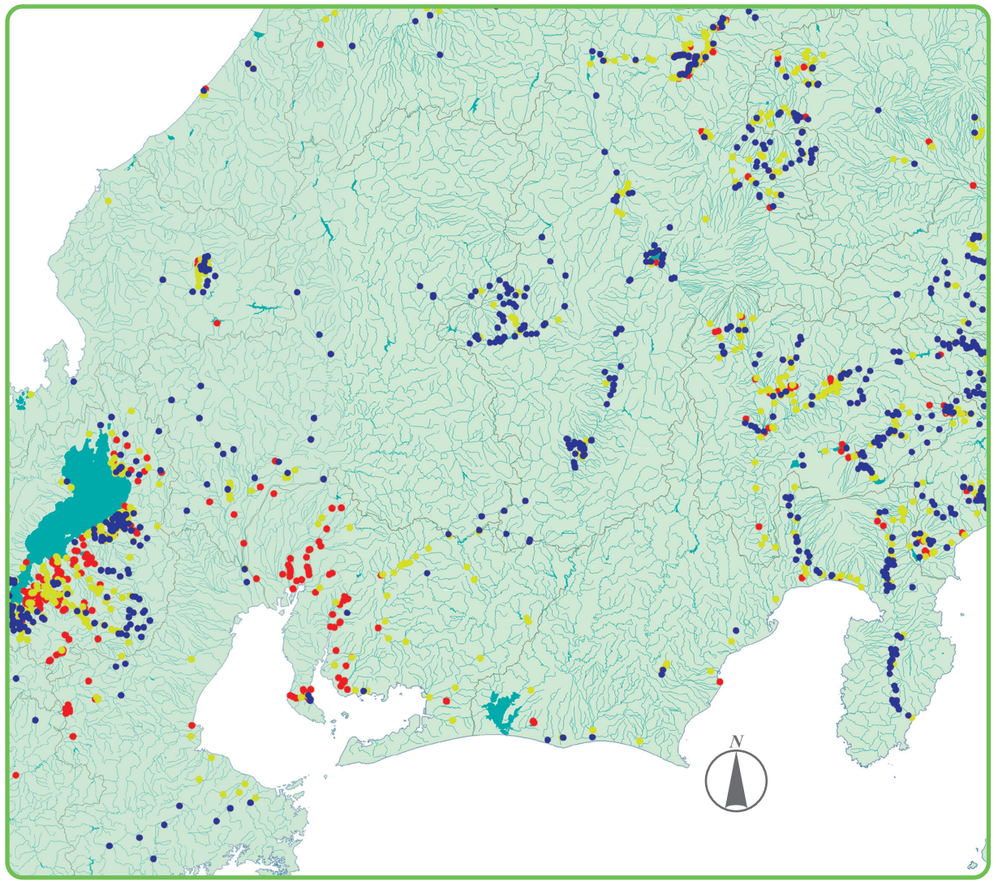
- 10数年前までは市内で一番汚れた川だったが、食品加工業者などが浄化槽をつけてからきれいになった。湧水も入るため水温も低い。
- 昨年8月22日の台風9号の時に調査河川が氾濫してしまいました。ところどころ災害のつめ跡が残り、護岸工事も行われているところもあり、場所によっては水が全く流れていませんでした。
- 1971年BOD 90最高で、1987年BOD31、1989年BOD20、2000年BOD5、その後データがなく、最近きれいになったと多くの市民から声をかけられます。
- ここ何年か水量が減少しているが、今年は特に水量が減少して採水が大変でした。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中部地方



参加者からのコメント

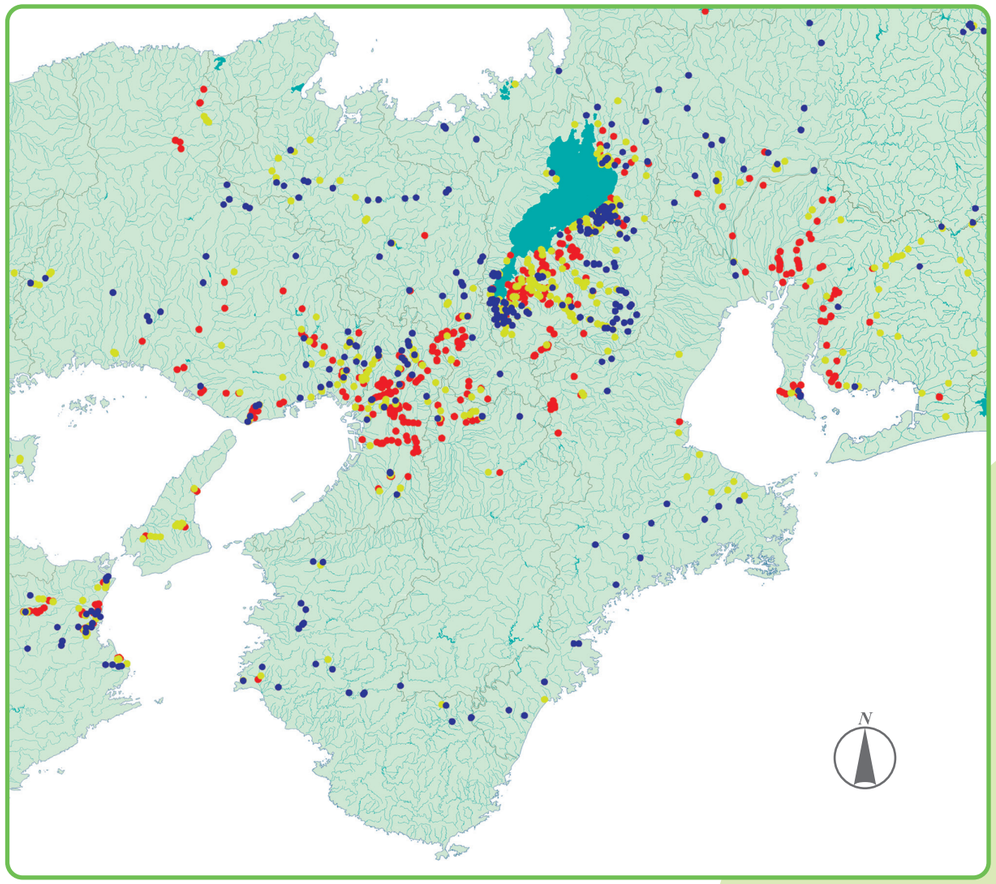
- 前回より水量多いようですが近所の方の話だと普段と変わらないということでした。少し濁っているようにも思います。
- 河床、水底の礫はアユハミあとあり。珪藻類中心。土砂は沈積なし。きれいな表面。右岸側に砂がたまり、陸化している。
- 河川敷の一部が川に沿って帯状に舗装された。
- 水量安定している。上流、下流方面に変化特になし。横断方向はやや変化した。土砂が溜まっている。川は変化なし。こいのぼりのある風景。





近畿地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

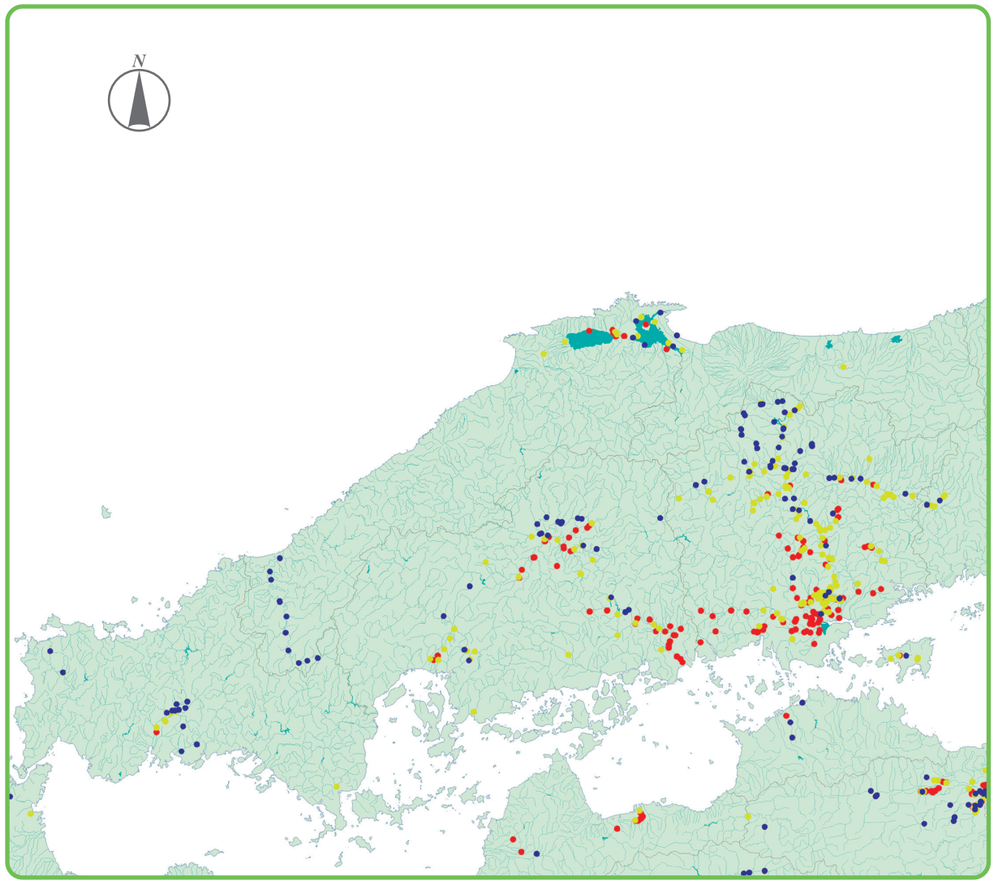
- 昨年よりも川の状況は良好だが水の濁りはややある。
- 河川改修のためきれいになったが、この時期（田植えあと）は泥色の水となる。
- 当日は前日の夜からの雨で川の濁りが心配されたが、増水もなく、濁りも少なかったので測定を実施した。ごみ等の散乱も少なかった。
- 今回は護岸工事中だったので、水が堰き止められ溜まり水の調査となり、過去のデータと違ったように感じました。
- 河川清掃などを実施しているため、ゴミ等は少なくなってきている。
- 水のきれいなところに住むいきものもいるが、汚れたところにいるものもいる。生活排水などの影響もあるのではないかと考えられる。水不足も考えられる。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中国地方



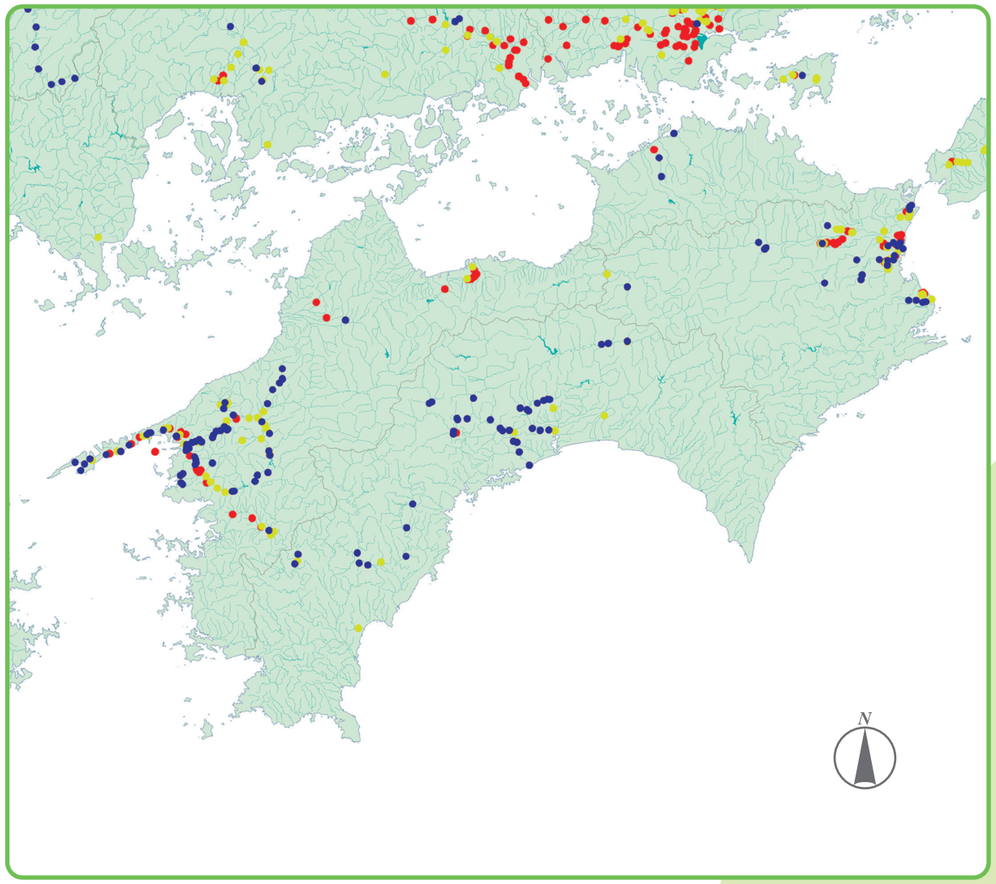
参加者からのコメント

- いつもより水量が少なく感じた。
- 水は少し濁っているため水中は見えなかった。昨年と同じ場所を測定したが大きな変化はなかった。
- 水鳥が生息しており、観察をして楽しんでいる人がいます。
- 昔は石積み護岸だった。昭和のころにはホタルが生息していた。
- 去年と比べて水量が少なく濁りが気になりました。





四国地方



参加者からのコメント

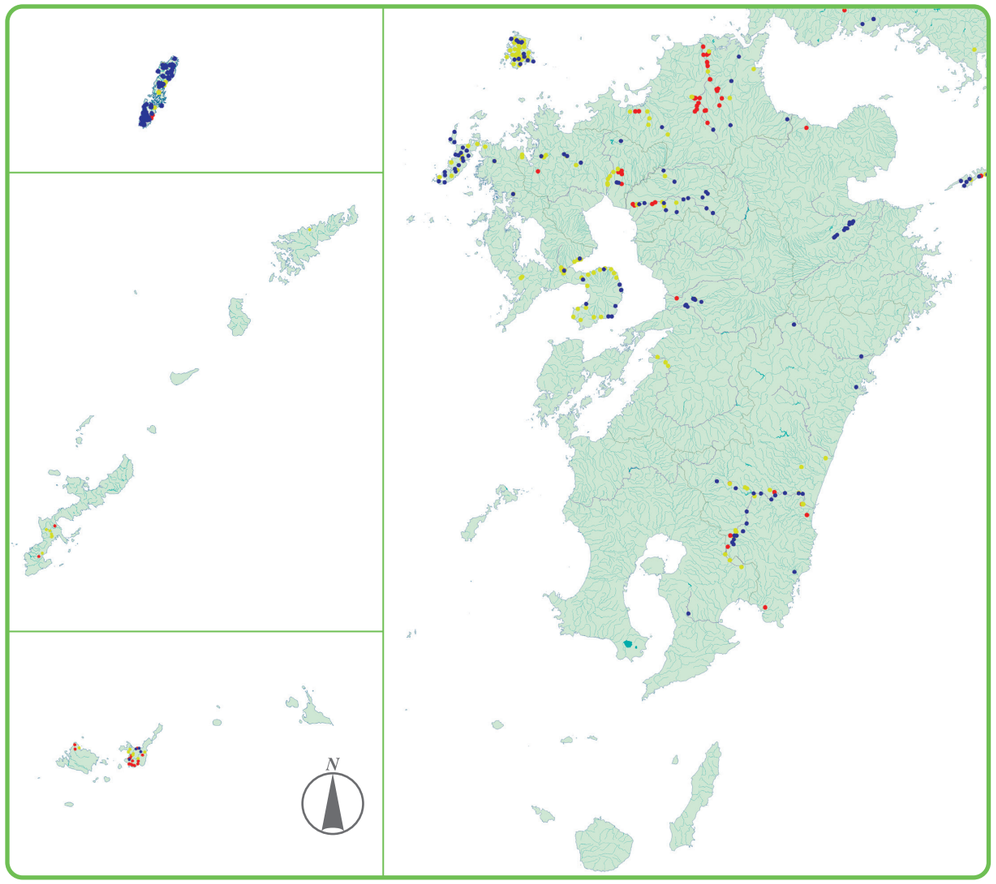
- 上流からの川の流れはなく、すぐ上流まで渇水。測定点のすぐ15mと5m上流に2本の生活排水流入しており、この水を測定しているように思いました。川底のヘドロが目立ったようになり、悪臭を放ってきた。
- 雑木の山あいのやや川幅の広くなった谷川。せせらぎが川の上手で響いている。下手は淵になって穏やか。
- ごみ類はほとんどなく、水量は多い。にごりは見られなかった。
- いつもの上流からの流れはなく川の石は完全に干上がっている、横からの別経路の流入のみが流れを維持して、水中にはカワニナなどの巻貝、水面にはアメンボが沢山見られる。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方



参加者からのコメント

- せっかく整備されていますが、あまり水辺に近づく人を見かけません。もったいない・・・。行事にもっと利用を考えたい。
- 潮は引いている。見た目はきれい。川上に向かって流れがある。おだやか。ごみはない。
- 人工的な水辺、いやな臭い、触りたくない。
- 水が冷たい、触っていたい、自然の心地良い香り。
- 生活排水も流れているため昔から数値が高いということは何も改善されていないということになる。10秒で8になった。





Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例 積水化成品グループで取り組む「身近な水環境の全国一斉調査」

積水化成品工業株式会社
連絡先　経営戦略本部 コーポレート企画センター
ＣＳＲ・広報部（大阪）　柳瀬 公明
TEL： 06-6365-3016　　FAX： 06-6365-3017
http://www.sekisuiplastics.co.jp/

当社グループは「第 10 回身近な水環境の全国一斉調査」に参加して以来、今回で５年目になります。

当社は、発泡プラスチックスを基盤として顧客から信頼されるプラスチックス・ソリューション・カンパニーを目指している会社です。

私達は、ＣＳＲビジョン「人と環境を大切に　夢をふくらませる積水化成品グループ」を策定し、2011 年よりグリーンカーテン、グリーンウェイブなどの環境活動をグループ会社全体で始めました。そのような折に、未来ファンドおうみを運営されている滋賀県の公益財団法人淡海文化振興財団様よりこの活動をご紹介いただき、市民団体が中心となった全国規模の水質調査活動があることを知り、ぜひ参加したいと思いました。

当社グループは、事業所を北海道から沖縄まで日本全国に展開しているので、グループ全体での一斉活動とすれば、環境教育と啓蒙ができるだけでなく、グループ全体の一体感を共有できると考えました。

実際に活動を始めてみて、社員とその家族が身近な河川の水環境の現状や保全の取組みに関心をもってもらうことができました。そして自然に触れることで自然環境の大切さもあらためて感じてもらえＣＳＲ活動の啓蒙にも役立っています。

他のグループ一斉活動としてグリーンカーテンやグリーンウェイブの活動を行っていますが、事務局としては色々と工数がかかり日々悩んでおります。しかし、この「身近な水環境の全国一斉調査」は、みずとみどり研究会事務局様に、お忙しい中色々とご支援をいただいており、事務局と致しましては大変有り難く思っております。

今年度の調査では、グループ会社 18 社、33 事業所が参加し、36 地点の河川を調査致しました。活動結果は、当社のイントラネット等でも紹介して啓蒙活動に役立てています。

今後は未参加の２社の参加を促して真の全グループ会社一斉活動とし、継続させていきたいと思います。関係者の皆さま、何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、いつも親切にご指導・ご支援をいただいております、みずとみどり研究会事務局様にあらためて厚く御礼申し上げます。



Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

1000地点越えを目指して全国各地を調査した「第14回身近な水環境全国一斉調査」

法政大学水文地理学研究室　浅見和希
〒102-8160　東京都千代田区富士見 2-17-1　TEL:03-3264-9456
E-mail: info@hosei89.com　　http://www.hosei89.com/

「法政大学水文地理学研究室」では、現役の学生のみならずOB・OGにも声をかけて、毎年「身近な水環境全国一斉調査」へ積極的に参加しています。近年は一層力を入れて取り組んでいますが、毎年、全国の調査結果を見たときに、調査が密に行なわれている地域がある一方で、ほとんど調査が行われていない空白域があるのが気になっていました。そこで、今回の第14回身近な水環境全国一斉調査で、当研究室では、調査があまり実施されていない空白地域を埋めつつ、1,000地点調査することを目標に掲げ、OB・OGの方々にも協力を仰いで、北は北海道から南は九州まで全国各地で調査を行いました。最終的に調査地点数は目標としていた1,000地点を大きく突破し、計1,400地点越えを果たしました。特に九州地方などの西日本と北海道では1週間に及ぶ調査を行なったので、ここではその中での印象等を示させていただきます。





西日本への大遠征調査では、東京を出発して中国地方から始め、九州地方の対馬・壱岐などの離島、それから平戸、島原半島に行き、その後は四国地方、淡路島そして紀伊半島を経て帰京しました。対馬や壱岐などの離島の水は大体きれいで、CODの低い所が圧倒的に多かったものの、生活排水や農業排水等が流入する所では高い値となり、特に対馬にはCODが8以上の地点もあって、どこでも汚染の可能性があることを強く認識しました。淡路島も印象的で、現地では肥料のにおいが鼻につき、予想通りCODが高い傾向にありました。時期によって違う可能性も考慮しなければなりませんが、各地域の特徴は把握できたのではないかと思います。

北海道の調査は十勝川流域、石狩川流域、さらには網走川など幅広い地域で実施しました。北海道と聞くと、広大な自然が広がり、CODがあまり高くない印象があり、実際、北海道の河川は規模が大きく、CODも低い傾向にありましたが、周辺に農地が広がっている小さい河川で特にCODが高い傾向にあり、このように細かく見ると、各地に水の汚染の原因となるものがあることが分かりました。

第15回目の節目となる来年の全国一斉調査では、地点数を増やすだけでなく、いろんな工夫をして、より意義のある調査にしたいと思います。

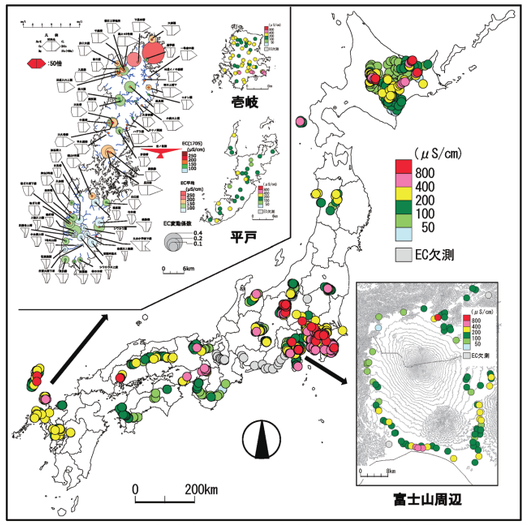


図1　調査地点のECと水質バランス（対馬）

コラム

（株）共立理化学研究所



調査キット

ごあいさつ

毎年6月5日は「環境の日」（国内）・「世界環境デー」（海外）として設定された環境保全に関わる重要な日です。

その6月5日に近い日曜日に、全国で開催される「身近な水環境の全国一斉調査」では、弊社製造の水質の簡易分析製品が調査キットとして使われ、第1回目から10年以上にわたりみなさまにお使いいただいています。

調査キットに付属の測定器具は、チューブの中に1回分の試薬が封入された「パックテスト」と呼ばれるもので、試薬調合から仕上げの袋詰めまでのほとんどが、手作業で行われています。

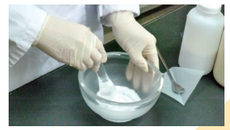
パックテストができるまで

①試薬を調合する

検水と反応してすぐに測定値が得られるよう、弊社独自の技術で調合された粉末試薬。

粒子の大きさや性質の異なる何種類もの試薬を全て人の手によって混ぜています。調合時の環境条件や原材料のわずかな変化を見逃さずに全てを均一に混ぜるには、機械ではなく人の目による判断と長年の経験がないと作ることができません。

パックテストには環境に負荷をかけることなく、みなさんが安心して使えるように工夫が施されています。



試薬の調合

②試薬をチューブに詰めてラインと一緒に封をする

ラインと一緒に封をすることで、ラインを抜き取ってできた穴から簡単に水を吸い込むことができます。

③銀色ラミネート袋にチューブを入れる

大敵である湿気や直射日光から、銀色のラミネート袋がパックテストチューブを守ります。

④パックテストのチェックを行う

作業工程が終わるたびに必ず人の目による厳重なチェックが行われています。

試薬の量は？ラインは？チューブの刻印は？ラミネート袋に穴は？などなど。

全てのチェックを合格してはじめて、パックテストが完成するのです。



検品作業

まとめ

長さ7センチと小さいパックテストの中には、誰でもどこでも簡単に水質調査ができるよう、たくさんの工夫と人の手や目による作業で作られています。

河川の汚れや結果だけではなく、使われているキットにも注目すると新しい発見があるかもしれませんね。



Ⅵ 継続調査参加団体

皆勤賞

14年参加（結果提出）団体（合計93団体）個人参加1名を含む

北海道	NPO法人十勝多自然ネット	茨城県	阿見町	東京都	日野市環境共生部　緑と清流課	神奈川県	鶴見川・水質チーム
宮城県	NPO法人宮城県河川環境研究会	茨城県	桜川市	東京都	八王子市東南部環境市民会議	新潟県	NPO法人新潟水辺の会
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	茨城県	土浦市	東京都	程久保川を考える会	福井県	大野の水環境ネットワーク
茨城県	一般社団法人 霞ヶ浦市民協会	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	山梨県	Yamanashiみずネット
茨城県	石岡市	埼玉県	環境を考える市民の会・むさし村山	東京都	グループひの消連	山梨県	大泉・水と緑を守る会
茨城県	牛久市	東京都	東久留米ホタルを呼びもどす会	東京都	八王子西南地区環境市民会議	山梨県	風間・瀧澤グループ
茨城県	つくば市	埼玉県	新座の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会	山梨県	メダカクラブ
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	東京NPO−21研究所	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	かすみがうら市	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	エコネット町田	岐阜県	NPO法人長良川環境レンジャー協会
茨城県	茨城町	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	はむら水と緑の会	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	小美玉市	埼玉県	NPO法人　エコシティ志木	東京都	環境・国際研究会	愛知県	庄内川松並木つくり隊
茨城県	笠間市	埼玉県	地域の自然を考える会	東京都	玉川上水ネット	愛知県	大山川を愛する市民の会
茨城県	鉾田市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	府中かんきょう市民の会	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊穣の郷
茨城県	神栖市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	あおばく・川を楽しむ会	京都府	相楽環境委員会
茨城県	行方市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	AMR	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	美浦村	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	東京環境工科専門学校　増穂班	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	河内町	東京都	自由学園	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	山口県	山口市立白石中学校
茨城県	利根町	東京都	明法中学高等学校　科学部	東京都	玉川上水ネット	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会
茨城県	国土交通省　霞ヶ浦河川事務所	埼玉県	東川を愛する会	東京都	林・宮島ファミリーズ	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課
茨城県	龍ヶ崎市	埼玉県	NPO法人　荒川流域ネットワーク	東京都	いたばし野鳥クラブ	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
茨城県	潮来市	東京都	浅川流域市民フォーラム	東京都	北区水辺の会	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
茨城県	稲敷市	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	国分寺みずっこクラブ	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
茨城県	筑西市	東京都	八王子中央地区環境市民会議	神奈川県	東京都市大学　小堀・咸研究室	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会

5年以上の参加団体（今年度参加をした上記以外の団体）

北海道	帯広稲田冒険遊びの会	埼玉県	白子川と流域の水環境をよくする会	東京都	多摩市水辺の楽校	新潟県	NPO法人関川水辺クラブ	岐阜県	大野町NPO法人里山会
北海道	留萌川を楽しむ会	東京都	宴久留米ほとけどじょうを守る会	東京都	浅川資徳水辺の楽校	新潟県	新潟県ビオトープ管理士会	岐阜県	NPO法人景京・垂井
北海道	こどもエコクラブくしろ　JEC	埼玉県	県立所沢北高校	東京都	Kie&Koki	新潟県	新潟市民大学講座	岐阜県	愛老町生活と環境を考える会
北海道	和光技研株式会社	埼玉県	不老川流域川づくり市民の会	東京都	（株）SRL遺伝子・染色体解析センター	新潟県	特定非営利活動法人加治川ネット21	岐阜県	NPO法人学ぶいび生活楽校
北海道	手稲さと川探検隊	埼玉県	かわごえ環境ネット 新河岸川水系グループ	東京都	高尾・浅川の自然を守る会	新潟県	潟上水辺の会	岐阜県	NPO法人ピープルズコミュニティ
北海道	環境クリエイト（株）	埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	八王子市西部地区環境市民会議	新潟県	樽川を守る会	静岡県	ガールスカウト静岡第24団
北海道	札幌市豊平川さけ科学館	埼玉県	砂川流域ネットワーク	東京都	八王子東部地区環境市民会議	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	静岡県	ガールスカウト静岡県第19団
北海道	サロベツ体験隊	東京都	空狐川を考える会	東京都	NPO法人環境活動センター八王子	新潟県	越後新川ぎもおこしの会	静岡県	磐田市電洋テニススポーツ少年団(静岡県)
北海道	屋舟川の清流を守る会	東京都	西東京の自然を見つめる会	東京都	せたがや野川の会	新潟県	新発田川を愛する会	静岡県	サンクチュアリジャパン
北海道	幾春別川をよくする市民の会	埼玉県	黒目川に親しむ会	東京都	一般社団法人　全国上下水道コンサルタント協会	新潟県	西川を創る会	愛知県	NPO法人　環境研究所豊明
北海道	軒猿別川をきれいにする市民の会	埼玉県	生活クラブ生協朝霞支部	東京都	福生水辺の楽校運営協議会	新潟県	自然環境見守り隊	愛知県	天白・川辺の楽校
北海道	NPO法人三笠森水遊学舎	埼玉県	所沢市立東中学校おやじの会	東京都	あきしま水辺の楽校	新潟県	エコクラブ　サンダーバード	愛知県	たかく子どもエコクラブ
北海道	十勝川のシシャモを守る会	埼玉県	あさか環境市民会議	東京都	神田川ネットワーク	新潟県	五十嵐川を愛する会	愛知県	愛知モリコロアースエコクラブ JEC
北海道	函館水産高校	埼玉県	NPO法人　和光・緑と湧き水の会	東京都	尾久の原堂好会	富山県	小矢部川に学ぶ会	愛知県	鯱城・堀川と生活を考える会
北海道	パナソニックES建設エンジニアリング労働組合	東京都	川クラブ	東京都	NPO法人センスオブアース	富山県	みずほ地域学芸員	愛知県	河和学区河川環境対策委員会
北海道	帯広川伏古地区子どもの水辺協議会	埼玉県	川と水辺を楽しむプロジェクト	東京都	板橋水辺を楽しむ会	富山県	常願寺川の清流と桜を愛する会	愛知県	矢作川環境技術研究会
北海道	株式会社 積水化成品北海道 SKG	埼玉県	志木市立志木中学校　科学部	東京都	下平井水辺の楽校	富山県	松愛会　北陸支部　富山地区	愛知県	豊川リバーウォーク委員会
北海道	株式会社 積水化成品北海道 鎮西工場 SKG	埼玉県	三貫清水の会	東京都	川の手ファンクラブ	石川県	「美川自然人クラブ」	愛知県	みなと塾
北海道	札内川懇談会	埼玉県	鴻巣の環境を考える会	東京都	足立区本木・水辺の会	山梨県	若月ファミリー	愛知県	苅谷市民会議
北海道	北海道標茶高等学校	埼玉県	霞川くらしの楽校	東京都	狛江水辺の楽校	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	愛知県	株式会社積水化成品中部　春日井工場 SKG
北海道	三笠イオン チアーズクラブ	埼玉県	川の博物館ボランティアの会	東京都	江東自転車エコライフの会	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	愛知県	南陽イオン チアーズクラブ
北海道	湯川イオン チアーズクラブ	埼玉県	もりんど	東京都	狛江市環境を考える会	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	三重県	宮川流域ルネッサンス協議会
青森県	HEP21エコクラブ　JEC	埼玉県	さいたま市リバーキーパーズ	東京都	身近な川の一斉調査実行委員会	山梨県	みずネット・おもがわ	三重県	コープみえ　環境(委)グループ　(BYQ)
青森県	NPO法人水辺の楽校べら	埼玉県	高麗川ふるさとの会	東京都	小金井環境市民会議	山梨県	宮田ファミリー	三重県	パナソニック　デバイス労働組合　伊勢支部
青森県	八戸市立下長中学校科学部	埼玉県	生活クラブ生協日高支部	東京都	美しい多摩川フォーラム	山梨県	松田(悟)グループ	滋賀県	NPO法人 蒲生野考現倶楽部
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	埼玉県	自然を守る狭山リサイクル の会	東京都	青梅・多摩川水辺のフォーラム	山梨県	みずまし	滋賀県	NPO法人瀬田川リバプル隊
岩手県	雫石町児童館　わらしゃんど雫石	埼玉県	かわごえ環境ネット	東京都	おさかなポストの会/ガサガサ水辺の移動水族館	山梨県	富士川ファンクラブ・堀穂地区	滋賀県	野洲川に親しむ会
岩手県	大深沢水園委員会	埼玉県	育てる会	東京都	法政大学水文地理学研究室	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	湖南流域環境保全協議会
岩手県	盛岡世代にかける橋	埼玉県	市野川エコクラブ	東京都	NPO法人境川緑のルネッサンス	山梨県	八ヶ岳野鳥クラブ	滋賀県	環境文化推進市民会議
宮城県	仙台リバーズネット梅田川	埼玉県	荒川の自然を守る会	東京都	バックテスト共の会	山梨県	調査課チーム	滋賀県	草津塾
宮城県	（公財）みやぎ・みやぎ環境とくらし・ネットワーク(MELON)木間会	埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	東京都	日野市_市民環境大学の会	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	(栗東市環境政策課)　栗東市役所
秋田県	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	埼玉県	熊谷の環境を考える連絡協議会	東京都	海城中学・高等学校　地学部	山梨県	富士川ファンクラブ・三珠地区	滋賀県	（株）グリーンちゅうず
秋田県	能代市こども環境探偵団	埼玉県	槻川をきれいにする会	東京都	日の出イオン チアーズクラブ	山梨県	山田ファミリー	滋賀県	NPO法人環境を考える会
山形県	NPO法人パートナーシップオフィス	埼玉県	生活クラブ生協菅原支部	神奈川県	相川・相模川流域協議会	山梨県	イデッチ	滋賀県	滋賀県南部環境事務所
福島県	夢ほたる・こおり	埼玉県	東洋大学	神奈川県	目久尻川をきれいにする会	山梨県	富士川下流出張所	滋賀県	NPO法人琵琶湖ネット草津
福島県	西郷くらしの会	埼玉県	生活クラブ生協鶴ヶ島支部	神奈川県	さむかわエコネット	山梨県	大月小松ファミリー	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会
福島県	白河くらしの会	埼玉県	与野・水と緑の会	神奈川県	帝京科学大学	山梨県	甲陵中学・高等学校	滋賀県	蔦深の里　甲賀流域環境保全協議会
福島県	夏井川流域の会	埼玉県	小畑の会	神奈川県	CCたかつ	山梨県	富士川中流出張所	滋賀県	野洲川を愛する会
福島県	ﾊﾞﾆｰｶﾞｰﾄﾞﾝｽﾞ労働総合連合会福島地区窓口会 PGU	埼玉県	さやま環境市民ネットワーク	神奈川県	国土交通省　関東地方整備局　京浜河川事務所	山梨県	生活クラブ生活協同組合（山梨）	滋賀県	茶釜川を美しくする会
福島県	いわきイオン チアーズクラブ	埼玉県	白岡市観光協会水辺の里親会	神奈川県	まいおか水と緑の会	長野県	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	滋賀県	イワタニラシドさとづくり会
茨城県	みどりの会	埼玉県	市野川水系in滑川町	神奈川県	天王森泉公園	長野県	千曲川水生昆虫研究会	滋賀県	淡海めだかの学校
茨城県	八潮たんけんたい　JEC	埼玉県	ふさおく環境フォーラム	神奈川県	横須賀SL研究会　JEC	長野県	戸隠地質化石博物館	滋賀県	ワイワイあぜしクラブ
茨城県	大子くらしの会	埼玉県	小川町児童館　JEC	神奈川県	沼間里山の会	長野県	飯水自然調査研究委員会	滋賀県	信楽の川自然愛護の会
茨城県	茨城県山岳遺産自然保護委員会	埼玉県	株式会社積水化成品埼玉 SKG	神奈川県	神奈川県山岳遺産自然保護委員会	長野県	軽井沢水楽会	滋賀県	甲南高校　バイオとかがく系列
茨城県	株式会社積水化成品東部本社　SKG	埼玉県	狭山イオン チアーズクラブ	神奈川県	NPO環境ファミリー葉山	長野県	湯川　水の会	滋賀県	滋賀県企業庁水口浄水場
茨城県	株式会社積水化成品関東 SKG	埼玉県	北戸田イオン チアーズクラブ	神奈川県	東京都市大学環境情報学部田中章研究室	長野県	エコラボ クラブ	滋賀県	滋賀県甲賀環境事務所
茨城県	（株）積水化成品関東　下館製造グループ SKG	埼玉県	八潮南イオン チアーズクラブ	神奈川県	NPO法人　藤沢グリーンスタッフの会	長野県	長野市水環境研究サークル	滋賀県	東近江環境保全ネットワーク
茨城県	茨城県霞ヶ浦環境科学センター　パートナー有志	千葉県	カヌークラブかわせみ	神奈川県	大岡川流域まちかわ衆	長野県	グリーンヒル友の会	滋賀県	八幡堀を守る会
茨城県	セキスイウレタン加工株式会社　SKG	千葉県	たんぽぽ　JEC	神奈川県	水辺愛護会　帷子川はふるさとの川の会	長野県	水環境チーム	滋賀県	東近江水環境自治協議会
茨城県	イオン笠間チアーズクラブ	千葉県	自然観察やまばうし　JEC	神奈川県	若葉台連合自治会　生活環境部	長野県	NPO法人　みどりの市民	滋賀県	環境フォーラム湖東
茨城県	常陸大宮イオン チアーズクラブ	千葉県	河南環境美化の会	神奈川県	辻堂ゴミゼロクラブ	長野県	ほっとスペース	滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡会議
栃木県	佐野新都市イオン チアーズクラブ	千葉県	ぬく森エコクラブ　JEC	神奈川県	大磯児童館　こどもエコクラブ	長野県	天竜川総合学習館かわらんべ	滋賀県	大宮川を美しくする会
群馬県	八幡エコ調べ隊　JEC	千葉県	NPO法人南外環環境クラブ	神奈川県	ファミリー居さんち	岐阜県	大垣市環境市民会議　水門川いきいきプロジェクト	滋賀県	日野川を見守る会
群馬県	城沼を考える市民会議	千葉県	二重川に親しむ会	神奈川県	笹下川再生プロジェクト実行委員会	岐阜県	イオンチアーズクラブ　柳津店　JEC	滋賀県	人と自然を守る会
群馬県	川と親しむ会	千葉県	南房総エコネット	神奈川県	パナソニックグループ労働組合連合会　厚木・甲信越地区連合会	岐阜県	NPO法人飛騨小坂200滝	滋賀県	滋賀大学環境学習支援士の会
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	千葉県	（株）積水化成品東部　佐倉事業所　SKG	新潟県	NPO法人ねっとわーく福島潟	岐阜県	NPO法人いびがわミズみずエコステーション	滋賀県	大津市河川愛護団体連合
群馬県	（株）積水化成品群馬 SKG	千葉県	湘南積水工業株式会社 SKG	新潟県	燕市子ども体験活動支援センター	岐阜県	学校法人西濃学園	滋賀県	天神川を美しくする会
東京都	北川かっぱの会	千葉県	イオン　チアーズクラブ	新潟県	日本ボーイスカウト遠盟　新潟第15団	岐阜県	（財）いびがわ　生命の水と森の活動センター	滋賀県	長等の川を美しくする会

5年以上の参加団体（今年度参加をした上記以外の団体）

滋賀県	逢坂の川を愛する会	大阪府	安威川の自然を守るネットワーク	奈良県	(株) 積水技研名阪小倉工場 SKG	徳島県	脇ライオンズクラブ	福岡県	パナソニックエコリレー福岡
滋賀県	藤ノ木川を美しくする会	大阪府	おおさかバルコープ　大阪まちづくり連絡会	和歌山県	日高川町水道協会	徳島県	TOKU　しま　うぉーたーず	福岡県	株式会社　積水化成品九州　豊前工場 SKG
滋賀県	多羅川を愛する会	大阪府	大和川市民ネットワーク	和歌山県	ほたるの会	徳島県	株式会社積水化成品四国鳴門事業所 SKG	佐賀県	(株) ミジク
滋賀県	盛越川上流を美しくする会	大阪府	CFKお魚の会	鳥取県	米子水鳥公園友の会JL.レンジャークラブ	香川県	土器川生物研究会	佐賀県	森と海を結ぶ会
滋賀県	相模川を美しくする会	大阪府	NPO法人大阪府環境協会	島根県	NPO法人アンダンテ21	香川県	カワセミ	佐賀県	NPO法人技術交流フォーラム
滋賀県	びわ水環境	大阪府	清水！東町会	島根県	認定NPO法人自然再生センター	愛媛県	NPO法人かわうそ復活プロジェクト	佐賀県	中島公民分館&子供クラブ
滋賀県	長浜市水生生物少年少女調査隊	大阪府	豊中少路小学校おやじの会	岡山県	児島湖流域エコウェブ	愛媛県	パナソニック ヘルスケア労働組合	佐賀県	やましろ塾
滋賀県	北郷里小学校	大阪府	アイラフ城北川実行委員会	岡山県	さとしょうエコクラブ　JEC	愛媛県	プロジェクト地球っ子ひろば	長崎県	本明川オビニオン懇談会
滋賀県	長浜市立七尾小学校	大阪府	ひがしなり わがまちくらぶ	岡山県	フジみどりの少年隊 JEC	愛媛県	パナソニック　ヘルスケア労働組合　四国支部　PGU	長崎県	リルーグリーンクラブ2　JEC
滋賀県	長浜北小学校	大阪府	積水化成品工業（株）　堺務部 SKG	岡山県	倉敷医療生活協同組合　まちづくり委員会	高知県	土佐山田町婦人会	長崎県	湖江地区環境保全の会
滋賀県	長浜南小学校	大阪府	株式会社　積水化成品堺 SKG	岡山県	積水化成品天理　岡山製造部 SKG	高知県	公益財団法人四万十川財団	長崎県	諫早市連合婦人会　高来地区婦人会
滋賀県	長浜市びわ南小学校	大阪府	パナソニックエコリレージャパン（事務局）	岡山県	中国学園大学池田満之ゼミ	高知県	鏡川下流の貝を育てる会	熊本県	次世代のためにがんばろ会
滋賀県	長浜市立田根小学校	兵庫県	日本武道玉谷選場スポーツ少年団　JEC	広島県	芦田川環境マネジメントセンター	高知県	横倉自然の森博物館友の会	熊本県	NPO法人 エコパートナーくまもと
滋賀県	長浜市立杉野小学校	兵庫県	丹波佐治川自然の会	広島県	株式会社　積水化成品山口　三原工場 SKG	高知県	田の口の環境を考える会	熊本県	パナソニック松愛会九州支部熊本分会
滋賀県	長浜市立神照小学校	兵庫県	青垣いきものふれあいの里　友の会	広島県	株式会社積水化成品山口　北広島工場 SKG	高知県	高知イオン チアーズクラブ	大分県	「なな せ 父流会」
滋賀県	長浜市立速水小学校	兵庫県	水環境ネット出石	広島県	パナソニック松愛会西中国支部 H,U	福岡県	水の会	大分県	株式会社積水化成品九州 SKG
滋賀県	長浜市立伊香具小学校	兵庫県	北はりま田園空間博物館	広島県	パナソニック松愛会西中国支部 M,T	福岡県	筑後川まるごと博物館実行委員会主催　高良川探検隊	宮崎県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
滋賀県	余呉小学校	兵庫県	六万のだか公園	広島県	パナソニック松愛会西中国支部 H,S	福岡県	福川再生の会・五平太	宮崎県	宮崎県自然豊かな大淀の工法研究会
滋賀県	長浜市立七郷小学校	兵庫県	武庫川づくりと流域連携を進める会	広島県	パナソニック松愛会西中国支部 Y,H	福岡県	川を観る会	宮崎県	大塚地域まちづくり推進委員会環境部会
滋賀県	長浜市立高津小学校	兵庫県	ユニトピアささやま	山口県	水の自遊人　しんすいせんたい　アカザ隊	福岡県	環境文化推進市民会議	宮崎県	宮崎自然環境調査研究会
滋賀県	長浜市立朝日小学校	兵庫県	垂水すっきゃねん!クラブ	山口県	殿居公民館	福岡県	遠賀川源流の森づくり推進会議	鹿児島県	おおすみ自然環境フォーラム
滋賀県	高時小学校	兵庫県	白陵中学校・高等学校　生物部	徳島県	大松川っ子クラブ	福岡県	砂流川を愛する会	沖縄県	西表ヤマネコクラブ　JEC
滋賀県	合戸地区農村環境委員会　JEC	兵庫県	パナソニックエナジー労働組合・加西支部	徳島県	NPO法人　宮川内谷川を良くする会	福岡県	田川ふるさと川づくり交流会	沖縄県	石垣島エコツーリズム協会
滋賀県	ひろちゃん かいつぶり	兵庫県	パナソニック エコソリューションズ池田電機株式会社	徳島県	水土里ネット　芳岐	福岡県	ひこさんがわ夢の会	沖縄県	じゃぶじゃぶ容石垣島
滋賀県	ボーイスカウト犬上第一団ボーイ隊	兵庫県	明石ため池清掃志隊	徳島県	吉野川ひがための会と徳島市環境リーダー水グループ	福岡県	遠賀川いかだフェスタ実行委員会	沖縄県	アンパルの自然を守る会
滋賀県	(株) 積水化成品滋賀 SKG	兵庫県	株式会社　積水技研　神戸工場 SKG	徳島県	年&和・美しい江川復活	福岡県	響みどりの会	沖縄県	(株) 積水化成品沖縄 SKG
滋賀県	株式会社　積水化成品近江 SKG	奈良県	特定非営利活動法人「関西環境とインフラを考える会」	徳島県	あわっ子!エコクラブ	福岡県	なかまホタル・メダカの会	沖縄県	南風原イオン チアーズクラブ
京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC	奈良県	株式会社 積水化成品天理 SKG	徳島県	協同組合徳島総合流通センター	福岡県	龍王・山・里・川の会		
大阪府	ガールスカウト大阪府第21団	奈良県	積水化成品工業株式会社　SKG	徳島県	チーム天野	福岡県	矢部川をつなぐ会		

※個人の参加者は49名

Ⅶ 全国水環境マップ 実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏　名	役　割	団　体　名	都道府県	TEL	E-mail
小倉　紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村　直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子　博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤　篤	実行委員	一般社団法人霞ケ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kca@cg.mbn.or.jp
渡邉　勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
大野　和広	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	shingashi@freeml.com
小寺　浩二	実行委員	NPO 法人地域環境科学研究会	東京都	090-7253-7380	kodera@hosei89.com
諏訪　祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
今村　和志	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinosw@po2.lcv.ne.jp
金崎いよ子	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
山崎　久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
藤岡　博	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原　和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野　宜宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-7578-6172	ngckk745@ybb.ne.jp
杉尾　哲	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野　朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1341-1847	ryukyuayuono@gmail.com

※委員は、平成29年12月2日現在

事務局

氏　名
高橋　克彦
菅谷　輝美
本間　君枝
浅見　和希
佐山　公一

オブザーバー

氏　名
小堀　洋美
咸　泳植
奥田　晃久
桝井　正将
青地　絢美
岡本誠一郎
岩井　聖
星野　順子
吉野　英夫
岡内　完治
岡内俊太郎
古内　覚
樋口　柚里
伊藤　奈未

Ⅷ 身近な水環境を調べよう！

第15回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2018年6月3日(日)を統一調査日として、第15回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

小倉　紀雄　全国水環境マップ実行委員会　実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年６月５日の「環境の日」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL　http://www.japan-mizumap.org/）や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ（http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html）で公表されています。

実　施　日	2018年６月３日（日）　世界環境デー（環境の日）の全国統一日を基本的に推奨。
測 定 項 目	気温、水温、ＣＯＤ、その他
測 定 方 法	調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）
参加申込と締め切り	専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みずとみどり研究会）に、**2018年３月10日（土）**までにご送付下さい。 なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。 参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1　調査キットは、参加申込者に2018年５月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会　事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28　飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169　E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp



全国一斉調査　お申し込み先
FAX：042-327-3169　E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第15回　身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ（http://www.japan-mizumap.org/）からもダウンロードできます。 身近な水 検索

2018年３月10日（土）までに必ずE-mailまたはＦＡＸでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり　　☐ 初めて

■ 参加グループ名
以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者　（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

■ 連絡先（グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など）住所、電話、FAX、E-mail（特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可）

住　所：〒　　-

電　話　　－　　－　　FAX　　－　　－

E-mail

■ 調査予定地点名　河川名など　例）○○県　○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか
河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

☐ はい　　☐ いいえ

■ 調査予定日　ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月3日に実施する　　☐ 6月3日に実施できない【その場合の予定　　月　　日】

■ 調査予定地点数　**水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。**

地　点（水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください）

■参加申し込みの確認はホームページ(http://www.japan-mizumap.org/)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年約6,000～7,000部配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。